

◆まちづくり地域優良事例集◆

城南まちづくりセンター

TEAM 城南ワンダホー



〈取り組みの内容〉

城南の住民が集い、ブランド力向上のために、城南まちづくりセンターと共同で各種イベントや商品開発等を実施しています。“仲間づくり”“城南町の情報発信”“人づくり・まちづくり・ものづくり”という三本の柱があり、城南町に人を呼び込んで、城南のことをたくさん知ってもらいたい、そして、城南の情報を発信する仲間になってもらいたいというもので、そのために様々な官民連携の取り組みを進めています。

〈取り組みを始めようと思った経緯・きっかけ〉

2010年に城南町が熊本市と合併することになったのがきっかけです。城南町のことをもっと皆さんに知ってもらって、来てもらえるようなことをしないと、“城南町”という個性が目立たなくなるんじゃないか、という思いから集まりました。イベントの時には毎回アンケートを取るんですが、皆さんがすごく“城南町”を認めてくださって「参加してよかった～」「城南町のいい所をもっとみんなに知ってほしい」って言ってくださいます。そういう声がやりがいにもつながるし、次のイベントのヒントにもなります。



〈取り組みで工夫にしていること〉

古くから住んでいる方、新しく移り住んでこられた方を分け隔てせずに、みんなが仲間として一緒に城南町のことを考えていけたらいいなと思います。まちづくりに対して、いろんな方の意見を聞いて企画に活かすというのが、一番気をつけているところです。「外からの目線」を大事にしています。TEAMの仲間にも新しく移り住んで来た方もいて、私たちが全然気づかない魅力を教えてもらうことが多いです。町の魅力を編集して発信して、それをみんなが共有して……そしてまたそれを広げていく。最終的には「城南町って住みやすいね」って言われるようになって、人口を増やしたいという思いもあります。

〈これまでの歩みとこれから〉

私たちのまちづくり活動は、少しずつ扉を開けてみて「あっ、これはいけるかな」という感じで一歩ずつ進んできたんです。いろんな企画とか商品開発とか、まずはちょっと集まって意見を出し合ってみようか、という感じで、それがだんだん広がってきたような。

イベントにしても、自分たちが今までに交流のあった方に声をかけながら、少しずつ企画を大きくしていったような気がするんです。なので、今やっているこの取り組みが、いきなりバーっと、すごいことになる、っていうことはあんまり考えていません。地道に、今やっていることを、ブレずにやっていきたいなと思います。



TEAM 城南ワンダホー
代表 岩村 匡 さん